

平成25年鉦工業指数の動向

1 概況

平成25年の本県の鉱工業指数(原指数)は、平成22年を100.0とした年平均で見ると、

生産指数は102.5となり、対前年比で6.4%の上昇となった。
 生産者出荷指数は100.1となり、対前年比で1.0%の低下となった。
 生産者製品在庫指数は93.3となり、対前年比で4.2%の低下となった。

本県鉱工業の推移をみると、生産指数は平成20年から5年ぶりに上昇となった。出荷指数は平成24年から2年連続して低下となった。在庫指数は平成23年から3年連続して低下となった。

生産指数の上昇要因を業種別にみると、その他の工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業などの上昇により、全体として対前年比6.4%の上昇となった。

出荷指数の低下要因を業種別にみると、化学・石油製品工業、プラスチック製品工業の低下により、全体として対前年比1.0%の低下となった。

在庫指数の低下要因を業種別にみると、化学・石油製品工業、金属製品工業、プラスチック製品工業などの低下により、全体として対前年比4.2%の低下となった。

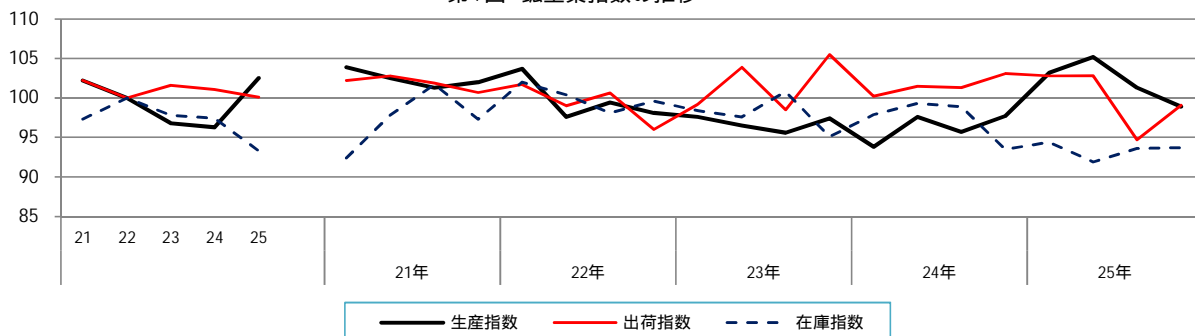
第1表 鉱工業指数(原指数)・対前年比(%) 平成22年 = 100.0

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
生産指数	102.2	100.0	96.8	96.3	102.5
前年比(%)	0.9	2.2	3.2	0.5	6.4
出荷指数	102.2	100.0	101.6	101.1	100.1
前年比(%)	3.8	2.2	1.6	0.5	1.0
在庫指数	97.3	100.0	97.8	97.4	93.3
前年比(%)	6.1	2.8	2.2	0.4	4.2

第2表 鉱工業指数(季節調整済指数)・対前期比(%) 平成22年 = 100.0

	平成24年				平成25年			
	期	期	期	期	期	期	期	期
生産指数	93.8	97.6	95.7	97.7	103.2	105.2	101.3	98.9
前期比(%)	3.7	4.1	1.9	2.1	5.6	1.9	3.7	2.4
出荷指数	100.2	101.5	101.3	103.1	102.8	102.8	94.7	99.1
前期比(%)	5.0	1.3	0.2	1.8	0.3	0.0	7.9	4.6
在庫指数	97.9	99.3	98.9	93.5	94.4	91.9	93.6	93.7
前期比(%)	2.9	1.4	0.4	5.5	1.0	2.6	1.8	0.1

第1図 鉱工業指数の推移



年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数

(1)生産

生産指数(指数水準102.5、対前年比6.4%増)

生産の上昇に寄与した業種は、その他の工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業などの8業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業の1業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

期(指数水準103.2、対前期比5.6%増)

生産の上昇に寄与した業種は、その他の工業(対前期比37.0%増)などの7業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、プラスチック製品工業(対前期比4.3%減)などの2業種であった。

期(指数水準105.2、対前期比1.9%増)

生産の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比6.1%増)などの6業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比7.6%減)などの3業種であった。

期(指数水準101.3、対前期比3.7%減)

生産の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比30.0%減)などの3業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比11.3%増)などの6業種であった。

期(指数水準98.9、対前期比2.4%減)

生産の低下に寄与した業種は、その他の工業(対前期比22.8%減)などの7業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比52.4%増)などの2業種であった。

第3表 業種別生産指数の動き

平成22年 = 100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H24		H25			原指数		25年 季節調整済指数			
		23年	24年	25年	期	期	期	期	期	24年	25年	期	期	期	期
鉱工業	10000.0	96.8	96.3	102.5	97.7	103.2	105.2	101.3	98.9	0.5	6.4	5.6	1.9	3.7	2.4
鉄鋼業	386.1	100.7	100.8	109.7	102.1	104.6	109.9	110.7	113.1	0.1	8.8	2.4	5.1	0.7	2.2
金属製品工業	1231.3	102.8	111.1	125.7	111.8	128.3	118.5	131.9	122.3	8.1	13.1	14.8	7.6	11.3	7.3
窯業・土石製品工業	1806.7	93.4	95.8	105.3	96.4	100.5	106.6	109.7	105.1	2.6	9.9	4.3	6.1	2.9	4.2
化学・石油製品工業	962.2	108.2	108.5	92.9	105.5	105.1	94.8	66.4	101.2	0.3	14.4	0.4	9.8	30.0	52.4
プラスチック製品工業	174.5	112.3	108.3	116.6	110.5	105.8	115.8	126.1	114.8	3.6	7.7	4.3	9.5	8.9	9.0
パルプ・紙・紙加工品工業	164.0	97.7	94.2	95.7	93.7	96.9	96.0	95.1	94.9	3.6	1.6	3.4	0.9	0.9	0.2
食料品工業	4255.3	92.3	87.7	91.0	90.4	90.5	91.1	92.9	88.5	5.0	3.8	0.1	0.7	2.0	4.7
その他の工業	849.0	100.4	101.1	127.0	101.4	138.9	149.7	120.1	92.7	0.7	25.6	37.0	7.8	19.8	22.8
鉱業	170.9	92.3	94.9	99.1	95.8	96.2	101.8	103.1	96.2	2.8	4.4	0.4	5.8	1.3	6.7
産業総合(参考)	12444.3	97.3	96.7	102.0	97.3	102.6	104.2	101.3	99.2	0.6	5.5	5.4	1.6	2.8	2.1

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(2) 出荷

出荷指数(指数水準100.1、対前年比1.0%減)

出荷の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業、プラスチック製品工業の2業種であった。
 出荷の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、その他の工業、窯業・土石製品工業などの7業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

期(指数水準102.8、対前期比0.3%減)

出荷の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比6.1%減)などの4業種であった。
 出荷の上昇に寄与した業種は、その他の工業(対前期比36.5%増)などの5業種であった。

期(指数水準102.8、対前期比横ばい)

出荷の上昇に寄与した業種は、その他の工業(対前期比13.2%増)などの6業種であった。
 出荷の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比9.6%減)などの3業種であった。

期(指数水準94.7、対前期比7.9%減)

出荷の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比20.3%減)などの3業種であった。
 出荷の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比9.6%増)などの6業種であった。

期(指数水準99.1、対前期比4.6%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比31.7%増)の1業種であった。
 出荷の低下に寄与した業種は、その他の工業(対前期比20.3%減)などの8業種であった。

第4表 業種別出荷指数の動き

平成22年 = 100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H24		H25			原指数		季節調整済指数			
		23年	24年	25年	期	期	期	期	期	24年	25年	期	期	期	期
鉱工業	10000.0	101.6	101.1	100.1	103.1	102.8	102.8	94.7	99.1	0.5	1.0	0.3	0.0	7.9	4.6
鉄鋼業	347.1	98.5	98.6	109.6	96.8	103.4	108.8	113.6	111.3	0.1	11.2	6.8	5.2	4.4	2.0
金属製品工業	764.3	106.0	114.1	129.3	113.1	129.1	123.1	134.9	127.3	7.6	13.3	14.1	4.6	9.6	5.6
窯業・土石製品工業	1171.7	94.9	95.4	104.2	97.2	100.7	106.5	109.0	101.6	0.5	9.2	3.6	5.8	2.3	6.8
化学・石油製品工業	3350.2	107.1	111.5	96.6	114.8	107.8	97.5	77.7	102.3	4.1	13.4	6.1	9.6	20.3	31.7
プラスチック製品工業	114.8	142.0	120.5	115.1	126.6	108.7	114.3	118.7	115.4	15.1	4.5	14.1	5.2	3.8	2.8
パルプ・紙・紙加工品工業	111.3	98.8	96.1	97.6	95.0	99.1	97.0	97.3	96.5	2.7	1.6	4.3	2.1	0.3	0.8
食料品工業	3617.1	97.3	90.7	91.6	92.0	91.3	92.3	92.1	90.6	6.8	1.0	0.8	1.1	0.2	1.6
その他の工業	442.8	101.0	101.3	127.4	100.7	137.5	155.6	117.4	93.6	0.3	25.8	36.5	13.2	24.6	20.3
鉱業	80.7	89.1	86.6	88.7	87.3	85.5	87.5	94.0	87.3	2.8	2.4	2.1	2.3	7.4	7.1
産業総合(参考)	12830.6	101.2	100.5	100.2	101.4	101.8	102.1	96.6	99.9	0.7	0.3	0.4	0.3	5.4	3.4

注1) その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2) 産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

(3)在庫

在庫指数(指数水準93.3、対前年比4.2%減)

在庫の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業、金属製品工業、プラスチック製品工業などの4業種であった。

在庫の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業、鉱業、その他の工業などの5業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

期(指数水準94.4、対前期比1.0%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、鉄鋼業(対前期比5.3%増)などの6業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比1.8%減)などの2業種であった。

期(指数水準91.9、対前期比2.6%減)

在庫の低下に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比10.7%減)などの4業種であった。

在庫の上昇に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比6.5%増)などの5業種であった。

期(指数水準93.6、対前期比1.8%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比10.3%増)などの4業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、鉄鋼業(対前期比6.4%減)などの5業種であった。

期(指数水準93.7、対前期比0.1%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比2.9%増)などの7業種であった。

在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比11.6%減)などの2業種であった。

第5表 業種別在庫指数の動き

平成22年 = 100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H24		H25			原指数		25年 季節調整済指数			
		23年	24年	25年	期	期	期	期	期	24年	25年	期	期	期	期
鉱工業	10000.0	97.8	97.4	93.3	93.5	94.4	91.9	93.6	93.7	0.4	4.2	1.0	2.6	1.8	0.1
鉄鋼業	569.9	104.4	106.4	107.4	107.5	113.2	113.1	105.9	97.5	1.9	0.9	5.3	0.1	6.4	7.9
金属製品工業	565.4	103.8	95.3	72.6	82.0	80.5	68.0	75.0	66.3	8.2	23.8	1.8	15.5	10.3	11.6
窯業・土石製品工業	1220.0	90.3	88.6	100.7	90.5	92.9	98.9	101.6	109.1	1.9	13.7	2.7	6.5	2.7	7.4
化学・石油製品工業	3196.5	95.5	99.5	83.9	91.2	91.5	81.7	80.5	82.1	4.2	15.7	0.3	10.7	1.5	2.0
プラスチック製品工業	131.8	117.8	130.3	113.8	118.2	112.8	114.1	112.1	116.3	10.6	12.7	4.6	1.2	1.8	3.7
パルプ・紙・紙加工品工業	92.3	114.4	98.9	93.7	90.0	96.0	93.3	90.6	94.7	13.5	5.3	6.7	2.8	2.9	4.5
食料品工業	3471.7	100.2	97.3	97.6	96.2	96.2	97.2	97.1	99.9	2.9	0.3	0.0	1.0	0.1	2.9
その他の工業	249.7	101.1	96.0	109.8	96.2	101.0	109.6	112.1	116.4	5.0	14.4	5.0	8.5	2.3	3.8
鉱業	502.7	90.2	90.0	100.1	91.8	94.3	98.4	101.6	105.8	0.2	11.2	2.7	4.3	3.3	4.1
産業総合(参考)	10000.0	97.8	97.4	93.3	93.5	94.4	91.9	93.6	93.7	0.4	4.2	1.0	2.6	1.8	0.1

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業、木材・木製品工業を統合したものの。

注2)産業総合は鉱工業と電力・ガス事業を統合したものの。

2 業種別の動向

(1) 鉄鋼業

生産指数(指数水準109.7、対前年比8.8%増)

生産の上昇に寄与した品目は、小形棒鋼、めっき鋼管、軽量形鋼であった。

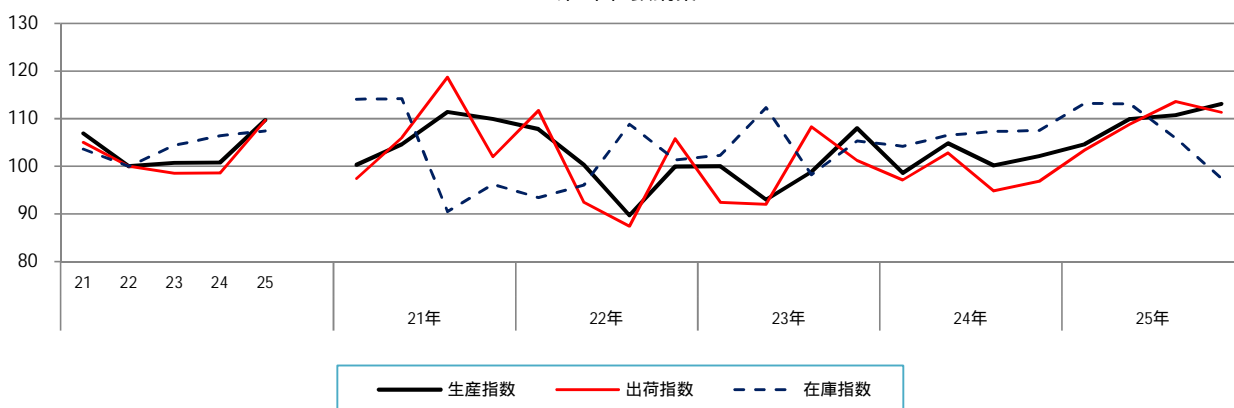
出荷指数(指数水準109.6、対前年比11.2%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、小形棒鋼、軽量形鋼であった。

在庫指数(指数水準107.4、対前年比0.9%増)

在庫の上昇に寄与した品目は、めっき鋼管、鉄蓋、鉄線であった。

第2図 鉄鋼業 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



(2) 金属製品工業

生産指数(指数水準125.7、対前年比13.1%増)

生産の上昇に寄与した品目は、鉄骨、金属製建具(サッシ・シャッター・ドア)であった。

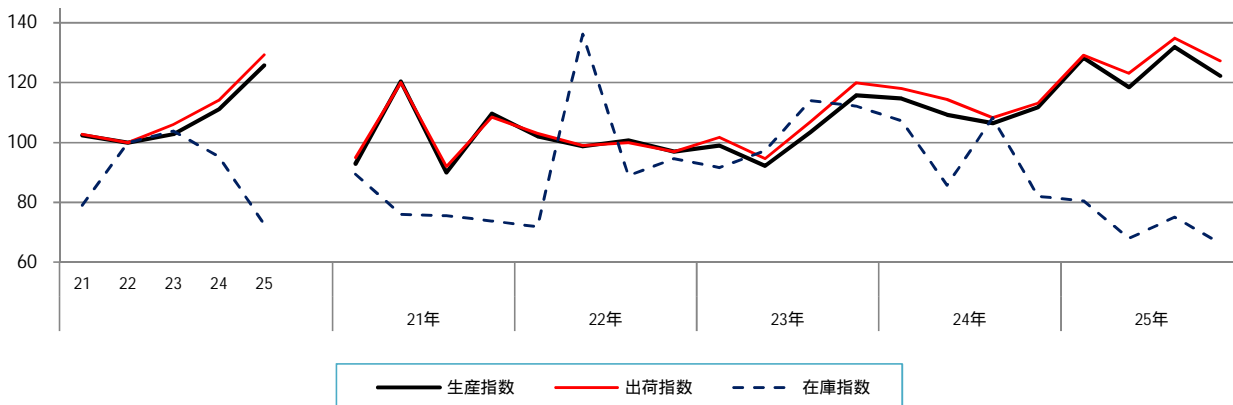
出荷指数(指数水準129.3、対前年比13.3%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、鉄骨、金属製建具(サッシ・シャッター・ドア)であった。

在庫指数(指数水準72.6、対前年比23.8%減)

在庫の低下に寄与した品目は、金属製建具(サッシ・シャッター・ドア)であった。

第3図 金属製品工業



(3) 窯業・土石製品工業

生産指数(指数水準105.3、対前年比9.9%増)

生産の上昇に寄与した品目は、生コンクリート、ポルトランドセメント(普通)、遠心力鉄筋コンクリートポールなどであった。

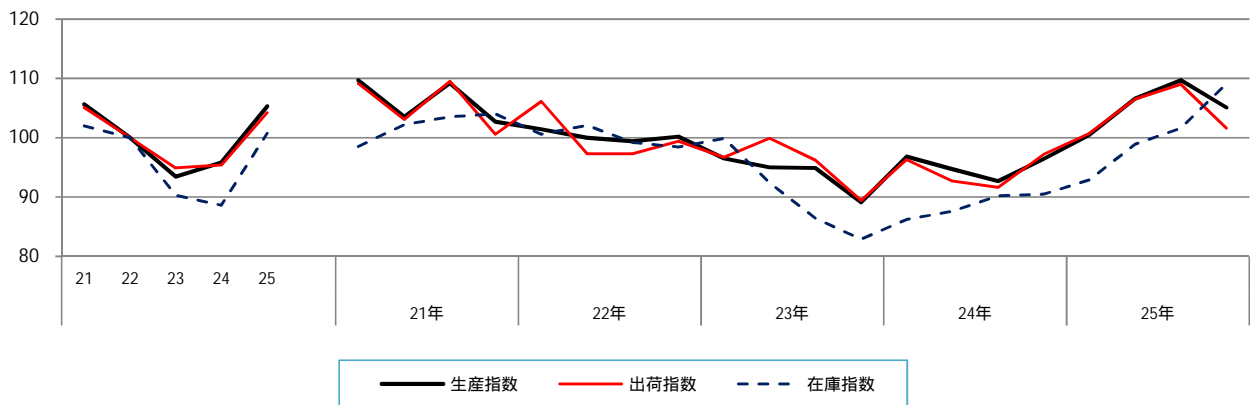
出荷指数(指数水準104.2、対前年比9.2%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、生コンクリート、ポルトランドセメント(普通)、遠心力鉄筋コンクリートパイプなどであった。

在庫指数(指数水準100.7、対前年比13.7%増)

在庫の上昇に寄与した品目は、道路用コンクリート製品、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、遠心力鉄筋コンクリート管などであった。

第4図 窯業・土石製品工業



(4) 化学・石油製品工業

生産指数(指数水準92.9、対前年比14.4%減)

生産の低下に寄与した品目は、ガソリン、C重油、軽油などであった。

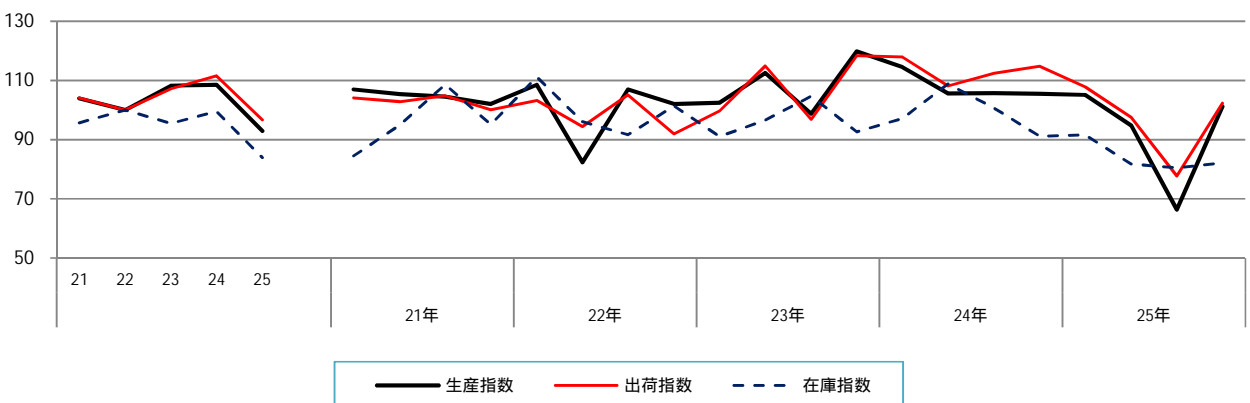
出荷指数(指数水準96.6、対前年比13.4%減)

出荷の低下に寄与した品目は、C重油、ガソリン、灯油などであった。

在庫指数(指数水準83.9、対前年比15.7%減)

在庫の低下に寄与した品目は、C重油、軽油、灯油などであった。

第5図 化学・石油製品工業



(5) プラスチック製品工業

生産指数(指数水準116.6、対前年比7.7%増)

生産の上昇に寄与した品目は、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製容器(中空成形)、発泡プラスチック製品であった。

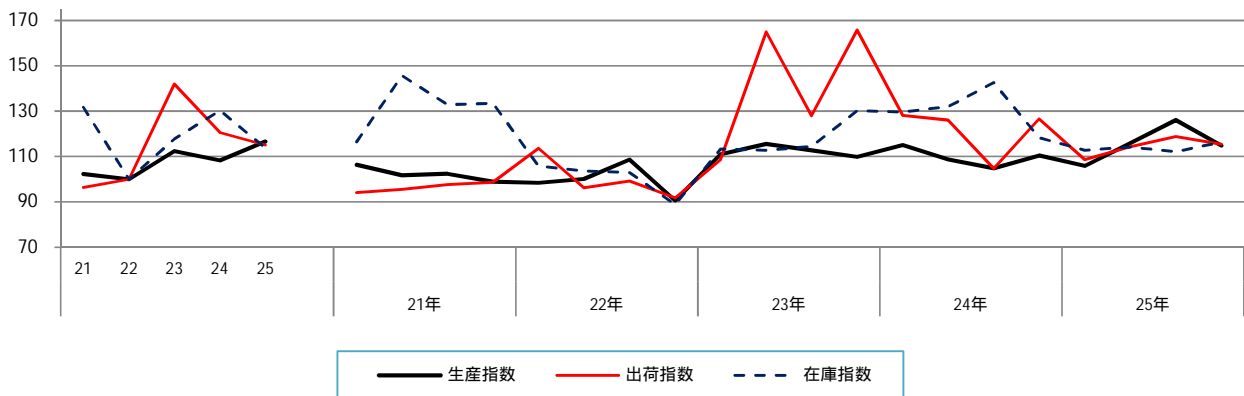
出荷指数(指数水準115.1、対前年比4.5%減)

出荷の低下に寄与した品目は、プラスチック製フィルム・シートであった。

在庫指数(指数水準113.8、対前年比12.7%減)

在庫の低下に寄与した品目は、プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製フィルム・シート、発泡プラスチック製品であった。

第6図 プラスチック製品工業



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

生産指数(指数水準95.7、対前年比1.6%増)

生産の上昇に寄与した品目は、段ボールであった。

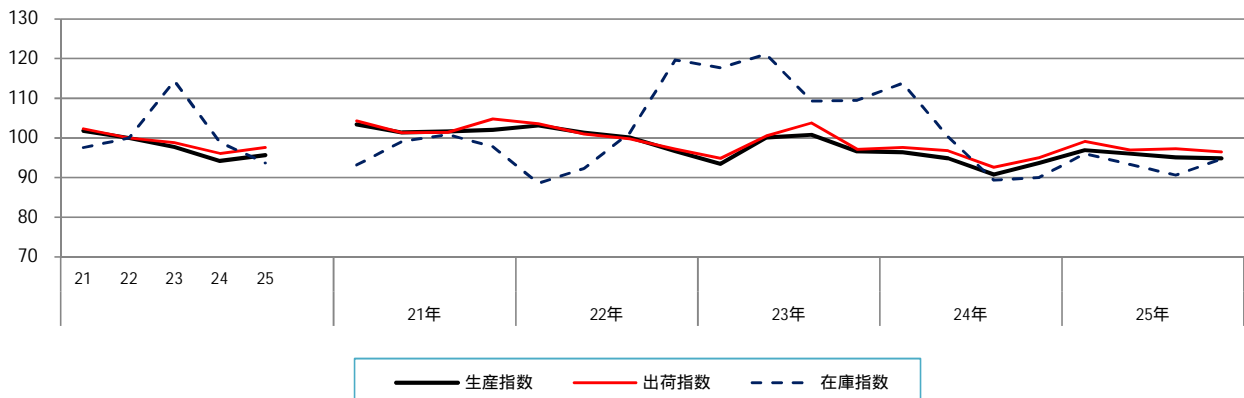
出荷指数(指数水準97.6、対前年比1.6%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、段ボールであった。

在庫指数(指数水準93.7、対前年比5.3%減)

在庫の低下に寄与した品目は、トイレットペーパー、タオル用紙、ちり紙などであった。

第7図 パルプ・紙・紙加工品工業



(9) 鉱業

生産指数(指数水準99.1、対前年比4.4%増)

生産の上昇に寄与した品目は、石灰石、軟けい石であった。

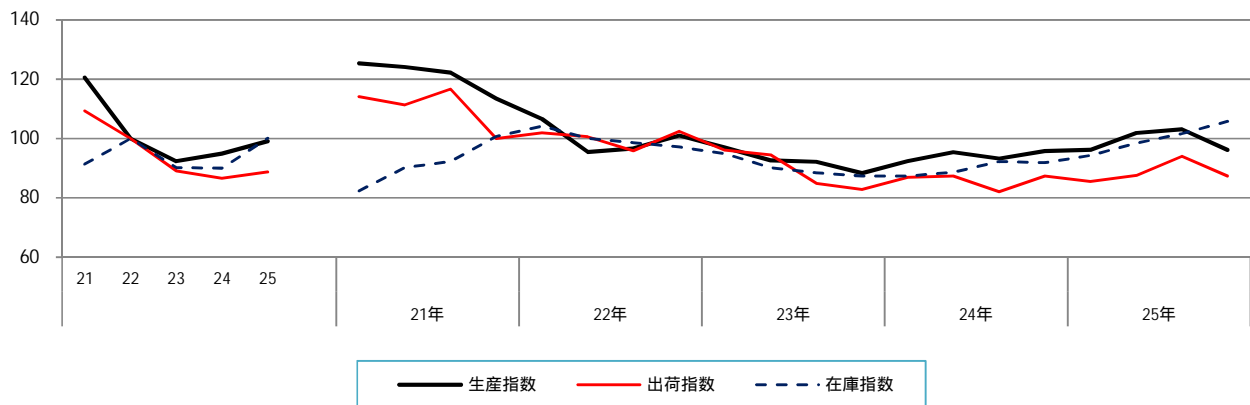
出荷指数(指数水準88.7、対前年比2.4%増)

出荷の上昇に寄与した品目は、石灰石、軟けい石であった。

在庫指数(指数水準100.1、対前年比11.2%増)

在庫の上昇に寄与した品目は、石灰石であった。

第10図 鉱業



3 財分類別の動向

(1) 生産

生産の動向を財別にみると、

**最終需要財は104.0となり、対前年比で5.3%の上昇となった。
生産財は98.7となり、対前年比で9.3%の上昇となった。**

最終需要財の投資財は114.1(対前年比11.5%増)、消費財は95.0(対前年比0.6%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は83.6(対前年比10.9%増)、その他用生産財は114.5(対前年比8.2%増)となった。

(2) 出荷

出荷の動向を財別にみると、

**最終需要財は102.3となり、対前年比で2.7%の上昇となった。
生産財は96.8となり、対前年比で6.4%の低下となった。**

最終需要財の投資財は114.6(対前年比11.4%増)、消費財は95.1(対前年比2.6%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は85.7(対前年比4.1%減)、その他用生産財は102.0(対前年比7.3%減)となった。

(3) 在庫

在庫の動向を財別にみると、

**最終需要財は95.4となり、対前年比で0.9%の低下となった。
生産財は89.2となり、対前年比で10.5%の低下となった。**

最終需要財の投資財は95.7(対前年比0.9%増)、消費財は95.2(対前年比2.0%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は99.7(対前年比0.8%増)、その他用生産財は84.0(対前年比16.0%減)となった。

第6表 財分類別生産指数

平成22年 = 100.0

	ウェイト	生産指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		21年	22年	23年	24年	25年	21年	22年	23年	24年	25年
鉱工業	10000.0	102.2	100.0	96.8	96.3	102.5	0.9	2.2	3.2	0.5	6.4
最終需要財	7075.0	102.3	100.0	97.2	98.8	104.0	2.5	2.2	2.8	1.6	5.3
投資財	3336.4	104.4	100.0	97.9	102.3	114.1	5.9	4.2	2.1	4.5	11.5
資本財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設財	3336.4	104.4	100.0	97.9	102.3	114.1	5.9	4.2	2.1	4.5	11.5
消費財	3738.6	100.3	100.0	96.5	95.6	95.0	0.9	0.3	3.5	0.9	0.6
耐久消費財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非耐久消費財	3738.6	100.3	100.0	96.5	95.6	95.0	0.9	0.3	3.5	0.9	0.6
生産財	2925.0	102.0	100.0	95.8	90.3	98.7	3.3	2.0	4.2	5.7	9.3
鉱工業用生産財	1492.7	103.9	100.0	87.9	75.4	83.6	2.3	3.8	12.1	14.2	10.9
その他用生産財	1432.3	100.1	100.0	104.2	105.8	114.5	4.7	0.1	4.2	1.5	8.2

第7表 財分類別出荷指数

平成22年 = 100.0

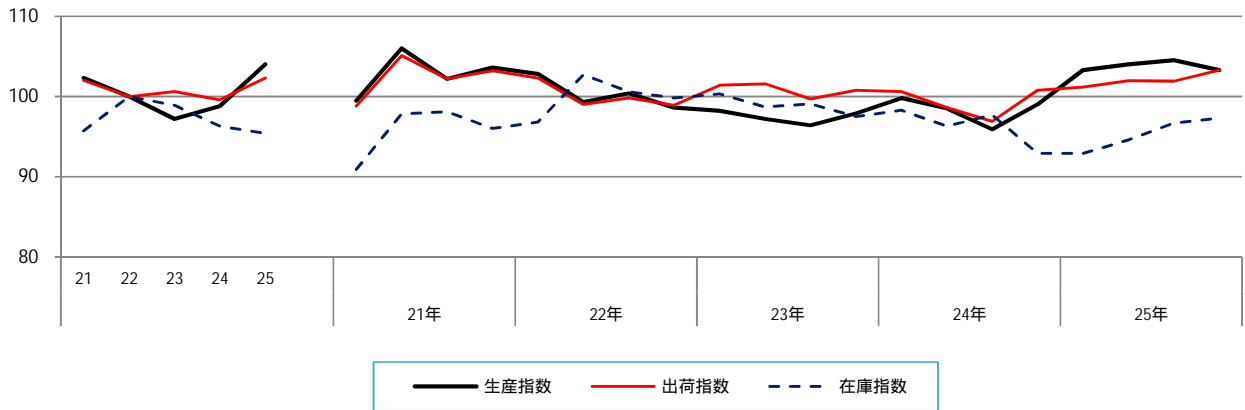
	ウェイト	出荷指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		21年	22年	23年	24年	25年	21年	22年	23年	24年	25年
鉱工業	10000.0	102.2	100.0	101.6	101.1	100.1	3.8	2.2	1.6	0.5	1.0
最終需要財	6042.7	102.0	100.0	100.6	99.6	102.3	0.9	2.0	0.6	1.0	2.7
投資財	2236.2	104.2	100.0	99.9	102.9	114.6	6.0	4.0	0.1	3.0	11.4
資本財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設財	2236.2	104.2	100.0	99.9	102.9	114.6	6.0	4.0	0.1	3.0	11.4
消費財	3806.5	100.8	100.0	101.1	97.6	95.1	5.5	0.8	1.1	3.5	2.6
耐久消費財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非耐久消費財	3806.5	100.8	100.0	101.1	97.6	95.1	5.5	0.8	1.1	3.5	2.6
生産財	3957.3	102.4	100.0	103.1	103.4	96.8	8.5	2.3	3.1	0.3	6.4
鉱工業用生産財	1264.6	108.3	100.0	99.3	89.4	85.7	4.2	7.7	0.7	10.0	4.1
その他用生産財	2692.7	99.5	100.0	105.0	110.0	102.0	10.6	0.5	5.0	4.8	7.3

第8表 財分類別在庫指数

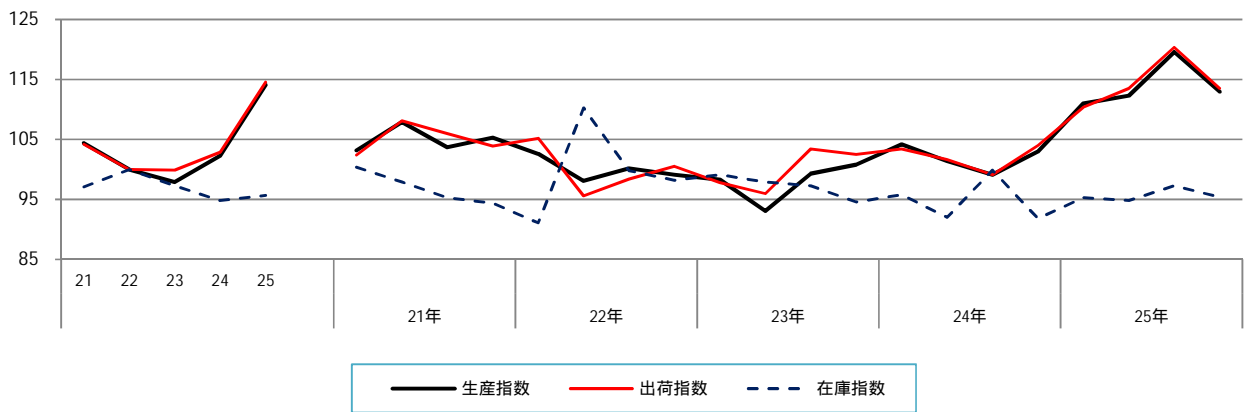
平成22年 = 100.0

	ウェイト	在庫指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		21年	22年	23年	24年	25年	21年	22年	23年	24年	25年
鉱工業	10000.0	97.3	100.0	97.8	97.4	93.3	6.1	2.8	2.2	0.4	4.2
最終需要財	6740.5	95.7	100.0	98.9	96.3	95.4	6.1	4.5	1.1	2.6	0.9
投資財	2340.3	97.1	100.0	97.3	94.8	95.7	1.5	3.0	2.7	2.6	0.9
資本財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設財	2340.3	97.1	100.0	97.3	94.8	95.7	1.5	3.0	2.7	2.6	0.9
消費財	4400.2	95.0	100.0	99.7	97.1	95.2	10.7	5.3	0.3	2.6	2.0
耐久消費財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非耐久消費財	4400.2	95.0	100.0	99.7	97.1	95.2	10.7	5.3	0.3	2.6	2.0
生産財	3259.5	100.5	100.0	95.6	99.7	89.2	6.1	0.5	4.4	4.3	10.5
鉱工業用生産財	1062.1	108.8	100.0	99.1	98.9	99.7	11.8	8.1	0.9	0.2	0.8
その他用生産財	2197.4	96.5	100.0	94.0	100.0	84.0	3.3	3.6	6.0	6.4	16.0

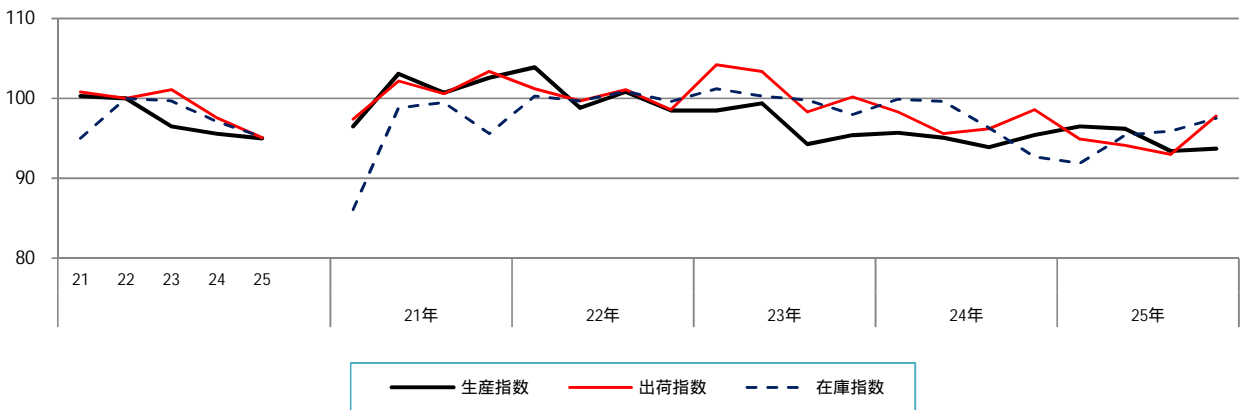
第11図 最終需要財



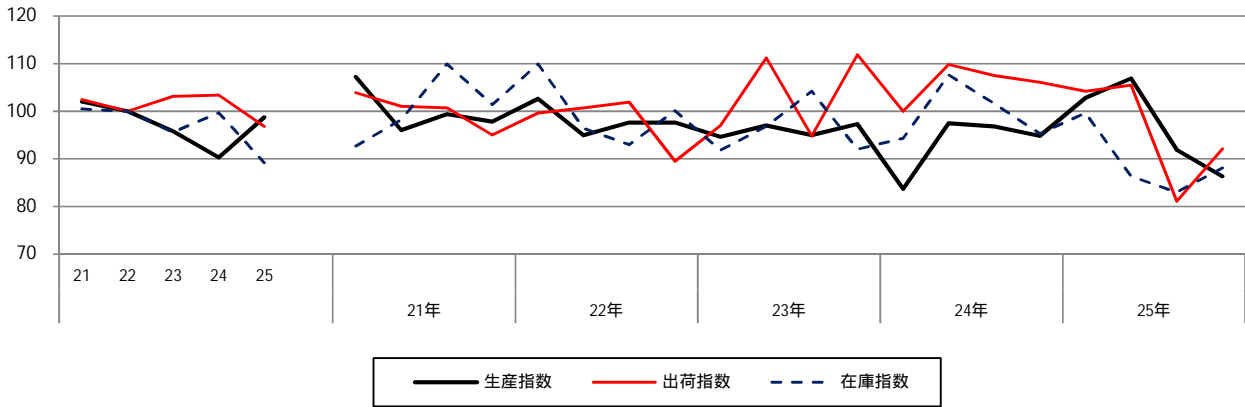
第12図 建設財



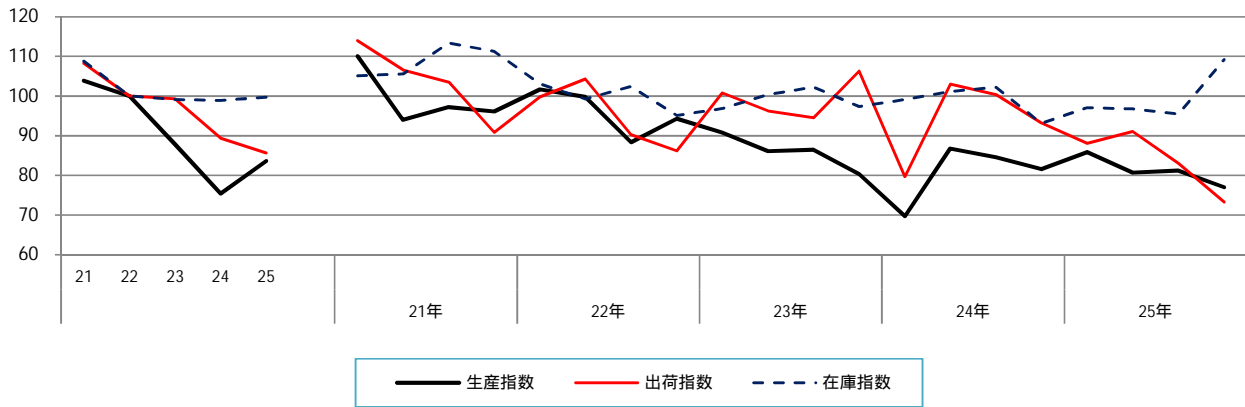
第13図 非耐久消費財



第14図 生産財



第15図 鉱工業用生産財



第16図 その他用生産財

